

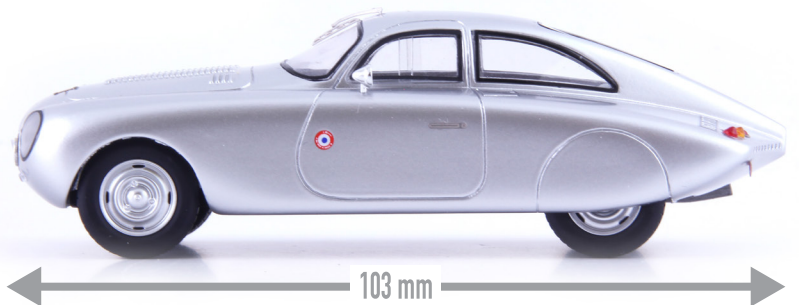
Scale 1:43

#04031

release

07/2021

limited edition 333 pcs.



スモールエディション

フランスのブランド、プジョーを取り巻く状況の中で、エミール・ダールマットの名は元々プロの小型車のチューニングで知られていた。彼は市販モデルを改造してファンを楽しませていた。その後、1937年からル・マン24時間レースで競技車に参入したことで知られるようになった。そして成功を収めたレースカーの少量生産版を302/402DSの名称で公道走行可能なバージョンとして販売した。

第二次大戦後、プジョーは全く新しいタイプ203を開発したことを発表した。45才になった彼はフランス人の購買行動の焦点が将来、戦前のデザインの202に基づくものでなくなり、203になるだろうとすぐに気づいた。その観点はまさに賢いものであったのちに証明された、なぜならタイプ203が1948年10月の生産開始当初からフランス人の心を魅了したことが明らかになったからである。彼の改造バージョンについては、ダールマットはスタンダードな細かい目のフロントグリルを新しいものに交換しようと決めた、新しいグリルは目が粗く

なったがよりアメリカ風になった。目立つ変化ではなかったが、ボディを7センチ低くした。技術的には簡単なものであったが、見た目には非常に効果的だったのは2つの後輪がボディでカバーされている点だった。このスタイルは当時の高価な高級車によく見られたデザインで203にラグジュアリー感を与えた。コンバーチブルにしたことでクローズバージョンよりもこのエスプリの効いたモデルに、優れたニュアンスを添えた。標準モデルと比較して「ちょっと上の」203の立場を協調するためエンジンの出力を45hpから80hpに増やした。2台目のキャブレターを取り付けることでこの印象的なパフォーマンスの向上が可能になり、従って運転の有用性も大幅に向上した。この203特別バージョンは1948年10月から自動車販売店「ダールマット」で製造された。いくつかの情報源では合計120台と言われているが、それ以外は150台が製造されたと言われている。

1970年、ダールマットは78歳で亡くなった。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de